

## 2回も大きな音が...

窓は、ワックス入りのガラスクリーナーでふいて、キレイに仕上げています。日常化しているので、苦にはなりません。

実は、宮川薬局の前面と後面には、大きなガラス面が。見る方向によっては、何も障害物がなく、向かい側までスウ〜と飛んでいけると錯覚するのでしょうか、小鳥がガラスにしばしば衝突します。「ドン！」と音がすると、ガラスには羽根を上げた鳥の姿が、まるでハンコを押したかのように、クッキリと残っているのです。ガラスの下の地面には、ぶつかった衝撃で、脳しんとうを起こした小鳥が、気絶しています。

ボール箱に入れて、様子を見てみると、目を覚ましてもジツとしており、それから数分後、何ごともなかったように飛び去っていくのです。

しかし、打ちどころが悪かった小鳥は、即死を。

先日は、ドン、ドンと、2回ぶつかる音が。外に出てみると、2羽のシジュウカラが地面に落ちていました。

オス同士の縄張り争いをしていたのでしょうか、それとも、つがいで仲よく空のお散歩をしていたのでしょうか？

1羽は即死のようでした。もう1羽は、しばらくジツとしていましたが、やがて飛び去っていきました。

## 危険回避の対応を

野生の動物が生きていくのは、大変です。窓をキレイに磨き過ぎる私のほうも

## 店頭から だんにちは

第134回

鳥インフルエンザなどを意識しての掃除を  
野生の動物にはくれぐれも注意

ガラス面の広い店舗には、大変なことがあります。強風や大雨の翌日、暑くても寒くても、窓ふきを――。



悪いのでしょうか？

今までぶつかった中で、一番大きな鳥は、山鳩です。

カラスは、いっぱいいますが、頭がいいのか、1度もガラスにぶつかったことはありません。

ガラス面の広いマンションに住んでいる方も、こういう経験が多いのでしょうかね。

運悪く命を落とした小鳥は、一晩経ったら、絶対に手で触れないようにして、ビニール袋に入れ、封をして処理を。野生の鳥は、鳥インフルエンザを持っているかもしれないからです。

道路上の鳥の糞も、水をかけてブラシでこすり洗いをして、流すようにしています。

「そこまで掃除するんですか？」

たまに、そういわれますが、「鳥インフルエンザの危険があるので」と説明すると、納得してもらえます。

コウモリなどの野生動物から、新種のウイルスが発見され、世界中に感染拡大する怖さを、私たちは経験しています。身近にいる野生動物には、注意をしましょう。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表  
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ

宮川季士先生

プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「寒いですが、春はもう少しです」

